

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公表番号】特表2017-503705(P2017-503705A)
 【公表日】平成29年2月2日 (2017.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報2017-005
 【出願番号】特願2016-544861(P2016-544861)
 【国際特許分類】

B 6 0 R 21/217 (2011.01)

B 6 0 R 21/262 (2011.01)

【F I】

B 6 0 R 21/217

B 6 0 R 21/262

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月5日 (2018.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガスバッグ、及びガスバッグにガスを充填するための、充填手段を備えたガスバッグ装置であって、

前記充填手段は、ガスバッグの開口部に配置され、前記開口部の領域に配置された保持手段によって前記開口部に弾性的に保持され、前記保持手段は弾性的性質を有し、前記保持手段は、前記弾性的性質によって、前記充填手段に保持力を加える、
 装置。

【請求項 2】

前記保持手段は、接着剤として形成され、

前記接着剤は、前記ガスバッグの二つ又はそれ以上のガスバッグ層の間に配置される少なくとも一つの接着剤トラックによって提供される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記充填手段は断面が実質的に円形に形成され、前記保持手段は前記充填手段に対して半径方向に弾性力を加える、請求項 1 又は請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記充填手段は、前記ガスバッグの少なくとも一つの接着剤トラックによって形成される弾性変形可能な導入チャンネル内に弾性的に保持される、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 5】

前記充填手段は、前記保持手段によって、前記ガスバッグの突出部状の接続領域内に弾性的に保持される、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 6】

前記充填手段は、充填ホース、充填チューブ又はガス発生機である、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 7】

前記保持手段が前記充填手段に加える弾性的な保持力は、前記ガスバッグの前記開口部内の前記充填手段の非積極的な接続につながる、請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の

装置。

【請求項 8】

前記充填手段は、接着性の接続によって前記ガスバッグの前記開口部内に保持されず、特に前記保持手段と前記充填手段との間には接着性の接続が存在しない、請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 9】

ガスバッグ装置の製造方法であって、

- ー ガスバッグを提供するステップであり、前記ガスバッグは、少なくとも一つの部分的な領域において、二つ又はそれ以上のガスバッグ層の間に配置される接着剤の形の少なくとも一つの保持手段を含み、前記接着剤は、硬化した接着剤トラックによって提供される、ステップ、及び
- ー 前記少なくとも一つの接着剤トラックを通して、又は、前記少なくとも一つの接着剤トラックを用いて形成される弾性変形可能な導入チャンネルの中に、縦長の充填手段を押すステップであり、前記充填手段は前記少なくとも一つの接着剤トラックの接着剤を動かし、前記接着剤は前記充填手段に弾性的な保持力を加える、ステップ、を含む、方法。

【請求項 10】

前記充填手段は、以前に使用されていない接着剤トラックに押し通される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記充填手段の端面にスパイクが配置され、前記スパイクは、前記接着剤トラックを通る前記充填手段の動きを案内し、前記充填手段の配置の後に再び取り外される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記充填手段は接着剤トラックに押し通され、前記保持手段を前記接着剤トラックに押し通す前に、工具を用いて前記接着剤トラックに切開が作られる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

前記ガスバッグの接続領域内に、正確に規定された直径の弾性変形可能な導入チャンネルが、前記充填手段を受けるために提供され、

- ー 前記接続領域内で、下方のガスバッグ層に少なくとも一つの接着剤トラックが塗布され、
 - ー 前記少なくとも一つの接着剤トラックの未だ湿っている接着剤の中に、インレーが挿入され、
 - ー 少なくとも一つの上方のガスバッグ層が取り付けられ、
 - ー 前記接着剤が硬化し、
 - ー 前記インレーが、再び取り外されるか又は弾性的に形成される、
- 請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

前記接着剤が前記充填手段に加える弾性的な保持力は、前記ガスバッグの開口部内の前記充填手段の非積極的な接続につながる、請求項 9 乃至 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

前記充填手段は、接着性の接続によって前記ガスバッグの開口部内に保持されず、特に前記接着剤と前記充填手段との間には接着性の接続が作られない、請求項 9 乃至 14 のいずれか一項に記載の方法。